

問 河川公園の設置構想は

答 県に働きかけて進めていく



一般質問
西丸 一明議員

新川は、雑草や土砂が堆積し、ゴミや空き缶が投げ捨てられていて、景観を損ねている。

水辺の環境を保全するために、町と町民の協働の環境整備が強く望まれるが。

町長

県民と行政が、協働して河川の環境美化、保全等を図ることを目的として、地域住民などの団体が、自発的な意思の下、清掃などの美化活動や、愛護活動等を実施している。

本町においては、地元ボランティア団体が、草刈、ゴミ拾い、花の植栽などを行っている。今後、住民の憩いの場に、

河川の未整備もある中で、県の担当課に働きかけて進めていく。

河川敷地の空き地利用

住民が広く活用する「河川公園」として、新川などの河川整備の可能性は。

町長

流域住民の方々の意向調査を実施し、今後、町、自治会、水利組合など利害関係者から意見聴取を行うことになっており、住民に親しまれる憩いの場として、河川公園の整備を、県に要望していく。



▲住民の憩いの場にできないか

環境教育の推進

自然にやさしく接することが、いじめ、不登校、キレる子、非行少年を少しでも減らす。自然や環境に、関心やモラルを高める意識

改革、環境教育を、もっと重要視すべきであり、子どもへの河川水辺での環境教育について伺う。

教育長

新川の水質検査や生き物調べ、上流探検、流域の環境調べ、また、吉田川への、ホタルの幼虫放流や、岸沿いに自治会の人と草花を植える活動、さらには、香川用水の清掃活動、魚捕りなどを行っている。

これらは、地域の人々の協力、支援を得て、総合的な学習の時間や、土曜スクールなどの時間の中で行われている。

環境美化条例の徹底

相変わらずタバコやゴミのポイ捨て、犬の糞の放置が見受けられる。もっと町民のモラルの高揚と、意識改革が必要ではないか。

町長

一部の心ない者によるゴミの不法投棄、ゴミの投げ捨てで、道路沿いや空き地に、ゴミが散乱する事例が見ら

れる。

ゴミ等の散乱を防止するには、行政はもとより全ての住民が、お互いに協力し、不断の努力により自主的かつ積極的により環境美化に取り組む必要がある。

廃校を利用して、認知症の介護施設を

廃校となった旧神山幼稚園・小・中学校を、民間活用による認知症専門の、介護施設としての活用は。

町長

跡地利用については、「奥山を良くする会」をはじめ、地元住民の意見を聞いた中で、認知症専門の介護施設の導入をも含めて、今後、検討していく。

問 町民の暮らしを守る

積極的な対応を望む

答 地域の活性化につながる施策を行っていく



一般質問
渡辺 達実 議員

地域活性化・生活対策臨時交付金、雇用対策等の交付金などを有効に活用せよ。

町長

現在の厳しい雇用情勢に鑑み、これらの交付金事業を有効に活用して、雇用対策を進めていく。

国が進めている消費税の増税など、町民負担の増大につながる施策に、反対の意見を上げてほしい。



▲お気軽に相談を

町長

持続可能な社会保障制度構築と、その安定的な財源確保に向けた実施内容等は依然不透明であり、行政サービスの低下が生じることのないよう、持続可能な財政運営に努める。

行政サービス利用制限の廃止見直しを

町税滞納者の町営住宅への入居や放課後児童クラブの利用制限、育英資金貸与事業や敬老年金の支給制限の見直しを強く願う。

町長

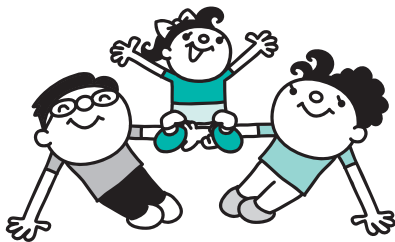
行政サービスの制限に該当する方に、分納誓約書を提出していただき支給、利用していただいている。弾力的な運用に努めながら、行政サービスの制限措置を行っていく。

定住自立圏構想を危惧する

高松市との「瀬戸・高松広域定住自律圏構想」の参加を見直すべきではないか。

町長

本町は合併に頼らず、今後も強制合併には反対していくが「定住自立圏構想」については、その趣旨に賛同して参画団体の一つとして大いに意見を述べたい。



下水道整備事業の状況と今後の課題は

事業の推進に当たっては、住民の理解を得られるよう努力を望む。

町長

事業の推進は、説明期の遅れなどから、地元住民の方々の反対を受けている状況である。

今後は、衛生的で快適な生活環境の確保と、公共用水域の水質保全を図るため、これまで以上に丁寧な地元調整を行い、住民の理解を得る努力を続ける。

下水道の加入率向上に向け、補助制度の創設などの研究を。

町長

接続推進の取り組みとして、供用区域内の住民に負担を具体的に説明するとともに、住

民の立場に立って、個々の事情等を把握し、それらに応じた支援策を講じる必要がある。

町として、各自自治体の制度の利用状況や長所短所などを精査し、研究していきたい。

同和行政の終結を

国の法律が終了している同和对策事業に関する予算が盛り込まれているが、終結させるべきではないか。

町長

本町で差別が現存する限り、人権侵害に対し主体的に取り組む。人権・同和問題に関する差別、いじめなど社会問題に理解をいただくため、人権教育・人権啓発を実施していく。

問 中小零細企業に

対する支援策を

答 緊急保証制度など、申請に対して迅速に対応する



一般質問
原田 照治 議員

厳しい社会経済情勢における、中小零細企業に対する支援策と、緊急保証の実施、中小企業融資制度に対する取り組み、利用状況を伺う。

少子化対策の環境整備を

核家族化の進展により、三世代同居が少なくなり、身近に相談や援助ができない家庭が増えている。母親の孤立化が指摘されているが、未来を担う子どもたちを、安心して産み育てられる環境整備、相談体制について伺う。

町長

出産一時金の支給、乳幼児に対する医療費、児童手当の支給など、若い世代が子どもを健康やかに成長させるとともに、子育てに喜びや楽しさを実感できる町づくりを目指している。

平成17年度に策定した、三木町次世代育成支援行動計画に沿って「子育てに安心するまちできるまち」を基本に、最優先で取り組んでいく。

山積する高齢者福祉施策と行政課題

三木町では、65歳以上の方々は6948人で、4人に1人が高齢者という時代になった。喜ぶべき長寿社会ではあるが、一方、独り暮らしの高齢者や高齢者世帯が増加の一途をたどり、見守りや介護者、介護家族への支援、認知症対策などが

重要な課題として、認識されている。こうした高齢者のニーズや、状態の変化に応じ、高齢者の生活を支える施策や、行政課題について伺う。

町長

現在、85歳以上の高齢者では、4人に1人の割合で認知症の症状があると言われている。介護者は戸惑いや混乱の中で、介護に不安を覚えている。

地域包括支援センターでは、総合相談において、医療機関等への紹介や、成年後見制度の利用についても相談、支援を行っている。さらに、認知症サポートー養成講座を実施

して、認知症の方や家族を地域で支える施策も講じている。養成講座に273人の参加をいただいている。

また、高齢者虐待防止策については、民生委員や地域からの相談、通報等を通して、早期発見に努め、関係機関等との連携を密にし、適切な対応に努めていく。

孤独死防止策については、福祉電話および緊急通報装置の設置や、独居老人の安否確認を目的とした給食配食サービス事業などに取り組んでいる。

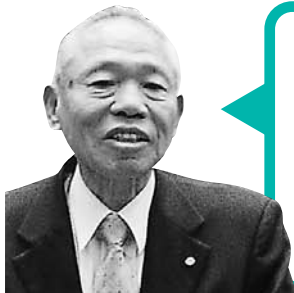
休日、夜間については、木田福祉会に依頼し、相談業務など、24時間対応を行っている。

町長

米国発の金融危機に端を発し、世界同時不況の様相を呈している。国民生活、企業活動に大きな打撃を与えている。国の第2次補正予算、緊急保証制度が20兆円、経営安定関連保証制度10兆円が確保された。申請に対しては、町の認定など迅速に対応していく。



▲24時間体制で臨む白山山荘



6項目 町長はこう答えた!

昨年の12月定例議会において、決算特別委員会からの、平成19年度各会計決算についての6項目の指摘事項に対して、町長から今後の取り組みについて報告があった。

1 医療制度の充実を

少子高齢化が進展する中、子育て支援の充実、乳幼児医療制度および高齢者、障害者、母子などの各種医療制度の充実、介護予防対策としての健康づくりなどの施策の推進に努められたい。

町独自の少子化対策として、子育て支援券交付事業を、優先的に取り組んでいる。介護予防対策として、地域包括支援センターで、さまざまな支援を行っている。

2 納税方法の多様化を図れ

町税および住宅使料料における滞納対策については、納税相談の実施、特に悪質と認められる滞納者については、法的手段等をもって、収納率の向上

に努められたい。また、納税方法の多様化を図られたい。

悪質な滞納者の対策は、不動産や債権の差し押さえ、さらには公売等による滞納処分を行っている。また、コンビニ納税などについて、検討していきたい。



▲多様化の検討を

3 早期供用開始を

公共下水道事業および農業集落排水事業の推進にあたり、下水道の重要性を十分に

周知し、浄化センター建設について住民の理解を深め、事業の円滑な推進を図られたい。

当該関係者に対して、誠意を持って粘り強く説明を行い、早期に浄化センター建設予定地を決定し、供用開始を目指し最大限の努力をしていく。

4 健全財政に努めよ

将来の財政負担の軽減を図るため、可能な限り地方債の繰上げ償還を行うなど、健全財政に努められたい。

自治体財政健全化法の趣旨を踏まえ、今後も繰上げ償還の実施も含めた中で、地方債の効率的かつ弾力的な運用を行い、常に財政の健全性の確保に努め、最終的な経費

負担者である町民の福祉を向上させるよう努力する。

5 3路線の早期整備を

生活道路における未舗装道の解消、山間部路線の整備及び交通安全施設の充実を図るとともに、町主要(南北)幹線計画の早期整備を図られたい。

町道3路線のうち1路線を早期に完成させた後、早急に補助制度等を運用し、整備していきたい。

6 コミュニティバスを、山間部などへ

高齢者や障害者などの、交通弱者の移動手段確保や利便性の向上のため、福祉バスとしての機能をも果たすとともに、山間部への拡

張を図り、早期に本格運行に移行されたい。



▲早期整備を願う

福祉バスとしての活用については、今後、障害者や高齢者などの交通弱者の方が、車椅子やシルバーカーなどでも利用していただけのように低床バスの導入を検討する。また、山間部へ路線延長すると、限られた運行時間の制約の中で、現在3コースの便数を減少せざるを得ず、サービスの低下によって利用者の減少につながる懸念がある。

委員会レポート

総務

2月開会

不用地を売却

町道三条鹿庭線の新設に伴い、不用となる土地12平方メートルを、元の地権者に売却することを了承した。

建設経済

2月開会

町道認定基準を見直す

認定を希望する大型団地内の道路について、現行の認定基準では該当しない道路もあるため、見直すとのことである。改正の主な内容は、認定基準に路線の一端が道路法上の道路に接続している循環状の道路を加えた。また、私道を町道に認定する場合、カーブミラーおよびガードレール等の、交通安全上必要な安全施設が設置されているものなどの、細かな要件を定めたということである。



▲現地調査の様相

問 団地内道路でも、認定されると町が維持管理をするのか。

答 土木建設課長

今回の改正は、あくまでも団地内をひと回りして戻る循環状の道路である。循環していても、団地内で行き止まりや、鍵状になっている部分は、認定の対象とならない。認定部分についてのみ、維持管理をしていく。

問 国や、県の補助事業により施行した路線について、幅員等の基準をクリアしていれば、町道認定は可能か。

答 土木建設課長

国や、県などの農林関係の補助で整備した路線は、農道台帳に登載されており、認定は非常に難しい。

下水道推進

2月開会

三木東浄化センター用地定まらず

12月1日に、新開自治会有志から候補地の誘致提案があり、執行部は新開地区を候補地の一つとして委員会に報告があった。

また、「新開地区に汚水処理施設を建設することに反対する会」より、町長および、議会と県知事、県議会に対して、反対の要望、陳情書が提出された。

さらに、町長に対して、1月22日に公開質問状が提出された。

主な質疑は次のとおり。

問 新開地区の周辺同意率は、

問 軒、周辺住民28軒中12軒で、全体で約62%となっている。

答 町長

ウォーキングセンター建設反対の訴状が出され、裁判に相当日数がかかると想定される。

問 では、候補地として、新開地区にほぼ決定したのか。

答 上下水道課長

周辺の同意が向上すれば、県においても見直しの検討に入ることになっている。

問 処理エリアの見直しが必要ではないか。

答 上下水道課長

ウォーキングセンターより低いので、可能ではないかと思う。

問 施工済の配管は、自然流下で利用は可能か。

答 上下水道課長

県からも、80%以上を目指すようにと指導を受けているので、さらに周辺の同意率の向上に努めたい。



▲新開地区候補地



▲ウォーキングセンター候補地

行財政改革推進

2月開会

議員定数削減に向け、現在の他市町の状況について説明を受けた。

今後は、定数に関する調査の経過について全員協議会で報告し、各議員の意見を聞き、検討を重ねていく。

また、議会の公開に
関し、インターネット
中継について調査を行
ったが、財政面等々か
らは、今直ちに実施す
ることは難しいというこ
とから、まずホームペ
ージの充実を図るとい
う説明を受けた。
さらに、議事録の公
開については、文化交
流プラザの図書室に閱
覧用の議事録を配置
し、一定の手続きを経
て閲覧を可能にするこ
う方針とした。
今後、インターネ
ット中継等、その他の
公開方法について、引

き続き調査を行う。

※本年4月から、三木町文化交流プラザ図書室において、議事録（平成20年第1回定例議会から）の閲覧が可能となりました。
ただし、貸し出しや、コピーなどは、できません。

環境保全対策

1月開会

まず、下高岡に所在する三木町クリーンセンターに赴き、不燃物収集日の施設内の状況および、職員による空缶処理の作業工程や、保管状況等を視察した。

次に、白山に赴き、景観整備事業の状況について現地を視察した。その後、現在の状況と課題についての質疑を行った。

ごみの減量や再資源化の状況は

問 ごみ減量化に向けて町民に対する、取り組みや啓発等の状況は、どうなっているのか。

答 環境保全課長

町政モニターのクリーンセンター見学や、婦人会等の集まり時に、環境問題、ごみ減量化等の研修を実施している。

毎年度、幼稚園や小学校の児童の施設見学も実施している。

問 クリーンセンター内作業現場での騒音発生について、作業員への負担はないか。

答 環境保全課長

職員の健康管理を含め、十分注意していく必要がある、産業医等の指導を受けながら取り組んでいる。



▲空き缶処理作業中

白山景観整備事業、今後の計画は

問 防災面に関して、施工対応の状況はどうなっているのか。

今後の計画はどうか問う。

答 産業振興課長

防災工事については、ほとんどの部分が完了している。

今後は、町道の拡幅工事に合わせて、側溝部分に接続する工事や、法面保護工事などを、進めて行く。

第1回臨時議会

2月18日開会

平成20年度一般会計補正予算を審議するための臨時議会が開会された。

内容は、平成21年度に実施される定額給付金事業補助金、子育て支援臨時特別手当交付金、合わせて4億8773万円を補正するもので、満場一致で可決された。

問 西丸議員

給付事務の事務経費は、十分確保できているのか。転居等への対応はできるのか。

答 民生生活課長

事務経費は、人口や世帯数に応じた額として、1940万円を計上しており、オーバーすることはないと考えている。

問 松原議員

給付方法について、口座振替以外に現金での給付などの対応を、検討すべきではないか。

答 民生生活課長

郵送による申請や窓口での申請方式などの口座振り込みと、窓口現金受領方式がある。基本的には、口座振り込みを推進していく。どうしても現金で受

問 香西(義)議員

町の経済対策として、地域応援券などプラスしていく考えはないか。

答 町長

国の考えている制度に沿っていく、上乗せは考えていない。

請願・陳情のゆくえ

平成20年 陳情第2号 (7月15日 受付)

ウォーキングセンターへの下水処理場建設反対の陳情

三木町大字下高岡1459番地1 北内 穰 外 336名

3月10日
不採択

平成20年 陳情第3号 (8月21日 受付)

ウォーキングセンターへの下水処理場建設反対の陳情

三木町大字下高岡1459番地1 北内 穰 外 1689名

3月10日
不採択

平成20年 陳情第4号 (9月16日 受付)

汚水処理場建設反対の陳情書

三木町大字下高岡1564番地15 白山クリーンタウン自治会長 乙井 幸洋 外 16名

3月10日
不採択

(平成20年12月26日 受付)

医療・介護・福祉など社会保障の拡充を求める陳情書

高松市栗林町1-6-4 香川県社会保障推進協議会 会長 松尾 邦之

議員配布

(平成21年2月25日 受付)

「気候保護法(仮称)」の制定を求める意見書の提出について

三豊市山本町辻3736-7 MAKE the RULE キャンペーン 香川 代表 合田 和稔

議員配布

人事



人権擁護委員に
八木道明氏の推薦に同意

平成15年7月就任
以来、3期目
大字井上(67歳)



意見書を提出



議員から2件の意見書案が提出された。

審議の結果、満場一致で可決され、内閣総理大臣をはじめ、関係行政庁に提出し、その実現を要請した。

●公的資金の繰上償還に係る補償金制度の廃止等を求める意見書●

▶▶▶ 提出先

内閣総理大臣、総務大臣、財務・金融大臣、衆議院議長、参議院議長

●Googleマップ「ストリートビュー」に関する規制・法整備を求める意見書●

▶▶▶ 提出先

内閣総理大臣、総務大臣、法務大臣、衆議院議長、参議院議長、香川県知事

今期定例議会の傍聴者は、
延べ34人でした。
次の定例議会の予定は、
6月中旬頃の予定です。

○印は出席 ○は半欠 ×は欠席

| 議員氏名 | 2/18 | 3/10 | 3/13 | 3/16 | 3/17 | 3/19 | 3/24 | 3/26 |
|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 桑井 明人 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 谷畑 健二 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 石井 定夫 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 溝淵 清美 | × | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 筒井 米市 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 原田 照治 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 古市 弘 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 西丸 一明 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 香西 茂知 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 古市 嘉忠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 香西 俊之 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 三宅 貞夫 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 白井 正治 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 香西 義典 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 三木 和則 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 松原 哲也 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 渡辺 達実 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 富田 修司 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

第1回臨時議会(2月)
第1回定例議会(3月)
議員出欠表
(本会議のみ)

追跡

第12回

レポート

どう
なっとんは？



学校の耐震化を急げ

将来の大事な財産である子どもを守るため、学校施設の耐震化工事を早急を実施せよ。

平成20年6月定例議会 一般質問



妊婦健診の無料回数の助成拡大を

現在、本町では4回の妊婦健診助成を行っているが、その無料回数を増やすよう、強く要望する。

平成20年3月定例議会 一般質問



教育長答弁

各小学校の耐震化工事は、平成22年度には完了予定である。

町長答弁

他市町の状況も踏まえながら、今後検討していく。

予定しています



平成21年度は平井小学校屋内運動場ほか4棟を予定しています。

こうなりました



平成21年4月から、14回になりました。

元気なグループ紹介

ふるさとウォーク会

会長 十河義夫

人は年をとって何が一番心配かということ、二に健康のこと、次に経済ということになります。

私達は、ウォーキングセンターで、週二回（大体二時間）集まって先生の指導を受けて歌の練習に励んでいます。会のモットーは、歌が上手になることよりも、歌が楽しめるようになることだと思います。

毎週集まっては雑談を交わし、腹筋を使って健康になること、ストレス解消等、それなりにメリットを感じています。高齢者が比較的多く、今まで最高九十二歳の方もいて、非常に元気で皆元気を貰ったものです。

高齢化が進み、医療費のますますふえる時、一人一人が特に健康に留意していくことが、特に大切なことではないかと痛感する今日この頃です。

グループのうち後期高齢者は、約七割に達しており、年の割には元気な方ではないかと思えます。



歌を歌って健康に



自治功労表彰



地方自治の振興に功労があったとして、全国町村議会議長会自治功労に、衆井明人議長が表彰され、その伝達が、3月10日、本会議場で行われました。

議会広報編集委員会研修報告

平成21年1月27日、広報発行町議会連絡協議会主催による県外研修に、6町の広報編集委員および事務局職員とともに参加した。

員の出席をいただき、編集方針等概要説明の後、表紙写真について、一般質問の記事についてなど、活発な意見交換が行われた。

研修先の高知県越智町は、3年連続、議会広報全国コンクールに入選するといった実績のある町である。当日は、片岡議長をはじめ、広報特別委員長以下5人全員の委員

「議会活動全般を、公正で客観的に捉え、町民に分かりやすく、読みやすい内容で周知する。読む人の側に立ち、親しんでもらえる紙面づくり」に努める「もつともなこ」である。

お気軽に議会を傍聴しませんか

本会議の傍聴人の定員は、30人となっておりますが、当日の午前8時30分で傍聴希望者が30人を超える場合は、抽選を行います。

●お問い合わせは、議事事務局へ

☎(087) 891-3311

次の定例議会は、6月中旬頃の予定です。

編集を終えて

終えて



昨年9月、米国史上最大の倒産といわれる、証券会社リーマンブラザーズの破綻やメリルリンチの身売りなど、世界史の転換点になるほどの金融ショックが起きた。その影響は、日本経済のみならず、地方財政にもおよんでいる。

先日のWBC連覇では、国民に喜びと感動を与えてくれたとともに、日本人の誇りを思い出させてくれたが、今度は私たちの番である。

いまだ出口の見えないこの危機的状況の中、政府を中心に国民が一九となって、難局を乗り切っていきたい。

(T.M)